

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教員氏名               | 野呂 香                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 主な担当科目             | ミュージカル・イン・イングリッシュⅠ,基礎英語Ⅰ,初級英語Ⅳ,中級英語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| シラバス               | <a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a><br>※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2023年の教育目標・授業に臨む姿勢 | 昨年に引き続き、演劇や語学の学びを通して、世界で起きている事象を巨視的な視点で見つめる視座を共有すること。演じることによって自己を見つめ、他者の立場から物事を考え思いやる気持ちを育てること。母語ではない言語を学ぶことで『伝える』とは何かを問い直し、『生きた』コミュニケーションと『伝わる』表現力を養うことを実践すること。演劇的手法を用い、Body(身体)、Mind(心)、Spirit(精神)を使ったホリスティックなアプローチを通して、英語は生きたコミュニケーションのツールであることを学生に伝えることが教育目標である。                                                                                                                       |
| 2023年の教育に関する自己評価   | 『基礎英語Ⅰ』では洋楽の歌詞や映画のセリフやから表現を学び、実際に演じることで生きた表現を学び伝える楽しさを共有することができた。『初級英語Ⅳ(オーラル)』では、トラベルイングリッシュをテーマに海外での様々なシチュエーションでの実践的な英語表現をベースにコミュニケーション能力を高めることが出来た。『中級英語ⅡB(舞台芸術)』では映画・絵本・詩などを題材に演劇的手法を通して英語での表現力を高め、各コースの特色を反映させたオリジナルの英語演劇作品を創作・上演することで「伝わる」表現力を養うことが出来た。『ミュージカル・イン・イングリッシュⅠ』では自然な発声を促すための呼吸法や演じる身体を養うためのボディ・ワーク/シアターエクササイズをベースに「台詞」の背後にある想いや感情を言葉に乗せて伝える方法を教授することで英語のディクシオンを高めることが出来た。 |
| 2023年のFD活動に関する自己評価 | 学部・短期大学部・大学院音楽科FD合同研修会に4月・9月ともに参加出席した。9月のFDでは学内組織のグループにおいてファシリテーターを務め書記として報告書をまとめて提出した。年に2回行われたミュージカルの学内組織FDでは、1年次必修科目「ミュージカル・イン・イングリッシュⅠ」担当教員として学生の様子を共有することで実技を含めた他の科目担当の先生方とのスムーズな引き継ぎを促すことが出来た。こちらも年に2回行われた語学の学内組織FDでは、独自のテーマを「語学授業内で行っている工夫について」とし、学生のレベル差や多様性が広がっている中どのような工夫がそれぞれの授業でされているかの情報共有を行うことができ非常に有意義な議論の場となった。書記として各回のFD報告書を取りまとめ提出した。                                     |
| 授業改善のために取り入れた研修内容  | 学部・短期大学部・大学院音楽科FD合同研修会の特に9月のFDでファシリテーターを務めた分科会のテーマが「多様な背景を持つ学生が持続的かつ安心して学べる学習環境とは-ジェンダー、セクシュアリティの視点から」という内容で、学内組織内で共有された知識や学びを活用し実際の教育現場にて配慮の必要な学生への対応をすることが出来た。ミュージカルの学内組織FDでは、実技担当の非常勤講師を含む先生方と学生の情報を共有できたことで、配慮の必要な学生へのきめ細やかな対応を実践することが出来た。語学の学内組織FDで話し合われた生成系AIをめぐる授業内での取り扱いについて課題の出し方を工夫し、日本語の指示が通じない留学生への対応について共有された情報を基に担当する科目において適切なアプローチをすることが出来た。                                |

## 2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2072 教員名:野呂香

### 1) アンケート結果に対する所見

### 2) 要望への対応・改善方策

### 3) 今後の課題

基礎英語オールラは、英語が「点数を取る為の科目の一つじゃなくて、私達と同じく人と人がコミュニケーションを取り合う為の言語なんだよ」というのを感じさせてくれる時間で物凄く面白かったです」とのコメントが寄せられたことは今後へのさらなる学びへのモチベーションに繋がる嬉しい結果となった。映画のセリフを対話の表現として使った英語学修を実践しているクラスだが、ドキュメンタリーやスピーチなどを通して時事的な問題を「活きた」表現を通して学修できるような教材作りを心かけた。こうした生の英語表現を通して、学生が個々にメッセージ受け、英語が「身につくというよりも、自然に力がついてくるような感触があった」と感じてもらえたことは喜ばしい。授業の最初の30分で導入している洋楽を使った穴埋め問題では、歌詞のカジュアルな表現を学べる機会でもあるので今後も継続していきたい。

初級英語オールラは Oxford 出版社から出ている『Passport1』をテキストに使用したクラスで、主に旅先で使える英語表現を扱っており、各 Chapter に出てくる旅先での様々なシチュエーションでの実践的な会話を学び、内容をよりパーソナルな表現に置き換えてペアワークをし、それぞれにオリジナルの台本を作ってもらい、暗記をし、皆の前で発表をするという形式で授業を展開している。毎回、必ず英語のフレーズを暗記して実際にロールプレイで演じて実践を体験するという作業をクラスの main activity として取り入れている。歯科用の口の模型を購入し、下の動きや口の中の空間の使い方など模型を使って正しい口の動きを真似てもらい発音指導をした。入国審査を一人ずつ体験してもらい、「将来行ってみたい国」についての英語のパンフレット作成など実践的な Travel English を体験してもらったことが結果的には授業の楽しさにつながったようだ。各 Unit に2回の授業を使い、1週目は会話文をノートに書き写し解釈を加えるという課題を通してインプット、2週目はその会話を実際に Act out することでアウトプットするという形で授業展開をしたが「この授業を通して授業としての英語じゃなくて生活している中で英語を身近に感じる事ができて嬉しかった」というコメントにもあるように、結果的に英語力アップを実感してもらえたようだ。

中級英語(舞台芸術)IIB は、私自身の専門でもある「演劇を使った英語教育」を導入／実践しているクラスである。この年は「Dear Evan Hansen」(2021)というミュージカル映画から劇中の「You'll be found」という曲の歌詞を教材として、「孤独」についてディスカッションなども交えてグループワークを行った。そのプロセスにおいて皆が協働して一つの場面を作り上げるといった経験を通してコースを超えた友達作りやコミュニケーションの場としてもこの中級英語 IIB での舞台作りは貢献できたようである。まさに演劇が内包している力のなせる技である。「想像力をたくさん働かせることができた。思っていることを言語化することでより深く考えることができたと思う。」とコメントにあるように、英語でのコミュニケーションを通して哲学的な問いを探究できたことは意義深い。ワークショップ形式で授業を行っているこの授業のスタイルに適した教室を確保することが例年難しく、C301(第2汎用)やC101などの机や椅子がない空間を自由に使える教室が増えることを今後期待したい。

以上